

間取り作成 iPadアプリ

 まどろっち

— 基本操作 —

入力画面の説明 ①



グリッド分割コマンドに関しては次ページ参照

入力画面の説明 ②

グリッドに沿う: ON 固定
水平/垂直に配置: OFF 固定

グリッドに沿う: 切り替え
水平/垂直に配置: 切り替え

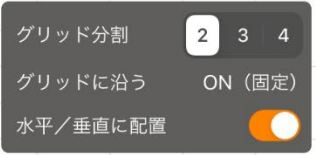
グリッドに沿う: OFF 固定
水平/垂直に配置: OFF 固定

グリッドに沿う: ON 固定
水平/垂直に配置: 切り替え

グリッドサイズ

※ グリッド分割で指定した単位でつかめる。
※ グリッドサイズに関しては、末尾「設定」コマンドを参照。

■ **グリッド分割コマンドの表示・非表示**



■ **グリッド分割**
切り替えることによって、1/2、1/3、1/4 グリッド単位で指定や入力することができます。

■ **グリッドに沿う**
グリッドに沿って入力するか、フリーな位置に入力するかを切り替えます。

■ **水平/垂直に配置**
水平/垂直に入力するか、斜め入力を可能にするかを切り替えます。

次ページより、各コマンドの解説を記載



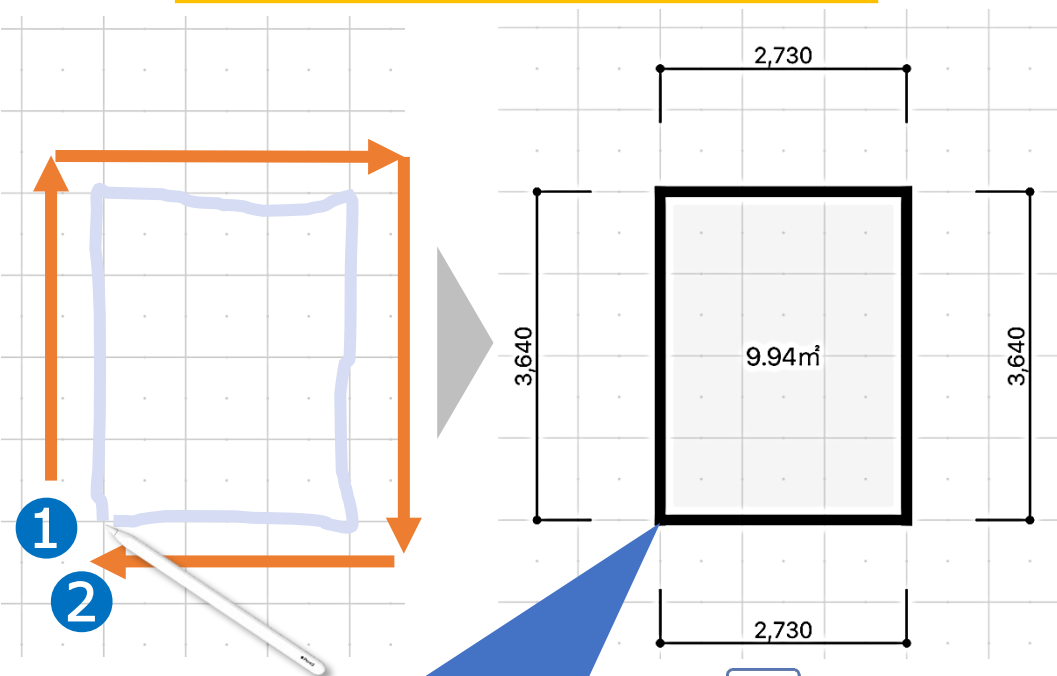
部屋や壁を入力してみよう。

ポイント

グリッド(2,3,4分割対応)を目安に壁をなぞる(一筆書き入力)

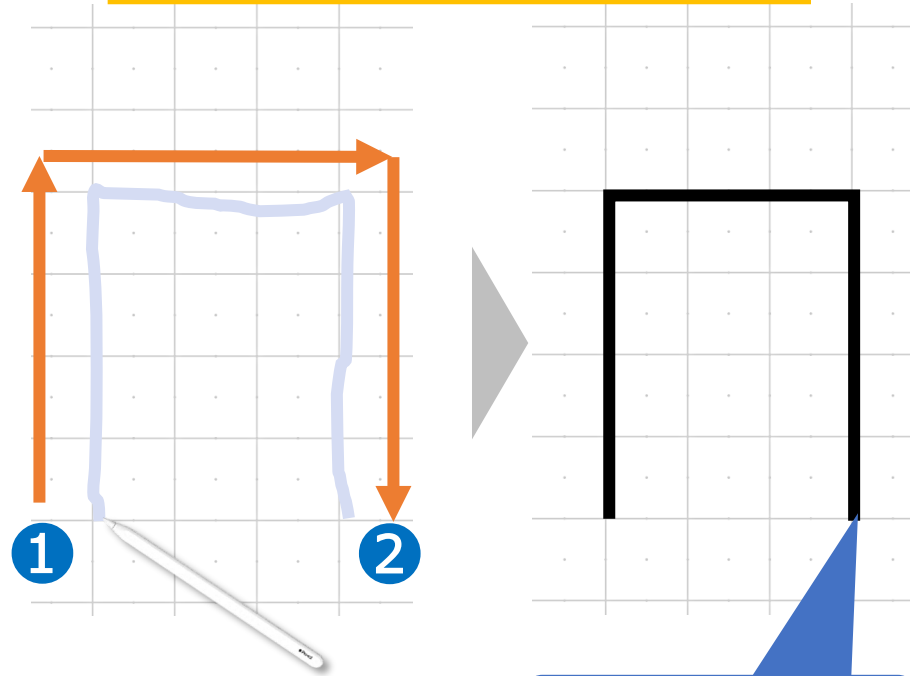
※ Apple Pencil、指、タッチペンなどを使用

壁の閉合領域 → 部屋



寸法線と部屋面積が自動作成

閉じてない壁 → 壁のみ



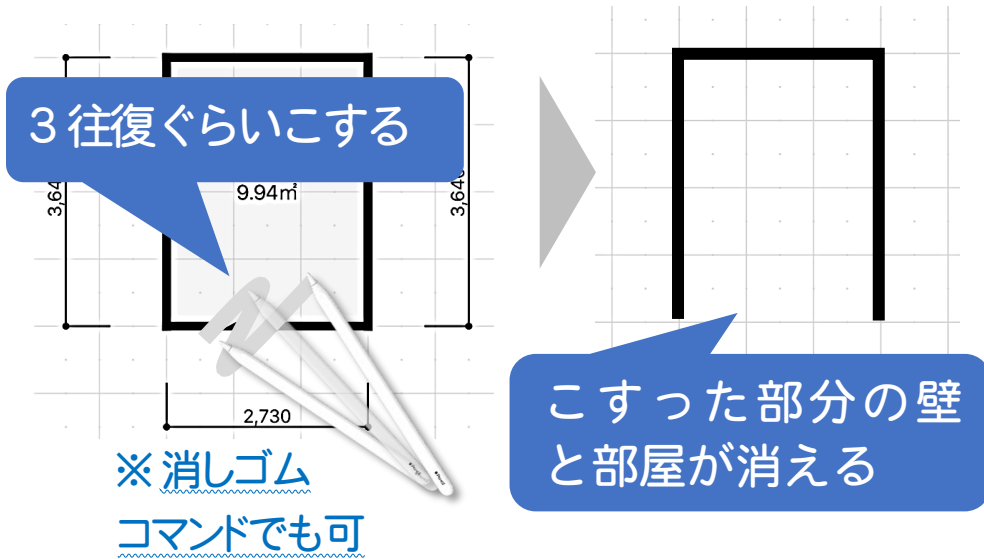
壁のみの入力



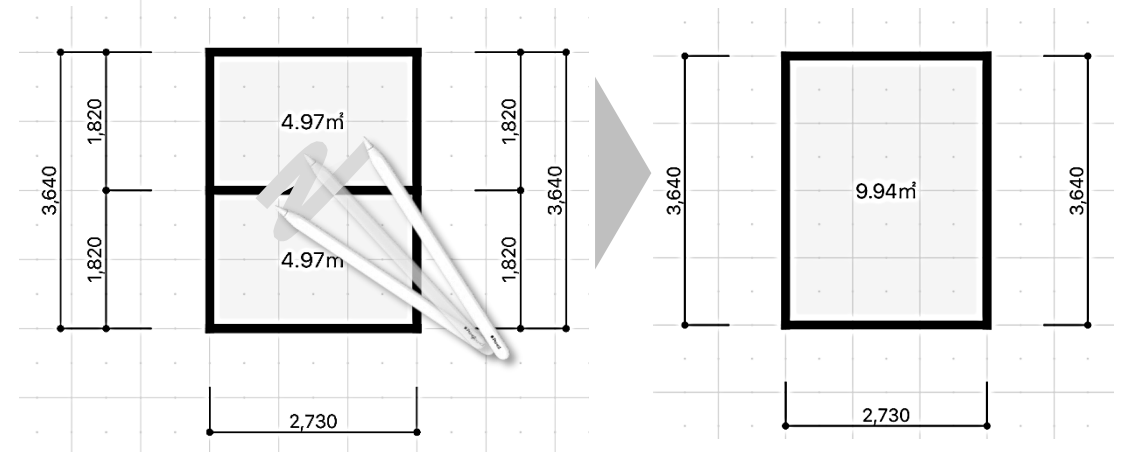
作業の途中にグリッド分割を変更した場合にも、入力済みのデータのラインの延長上は、グリッドとしてつかむことができます。

【補足】 いろいろな入力・削除方法

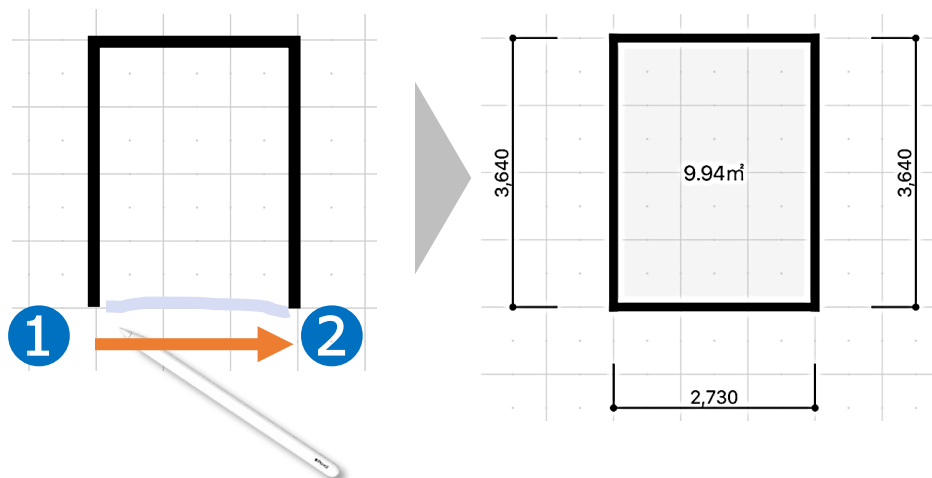
■ 不要な壁を削除する



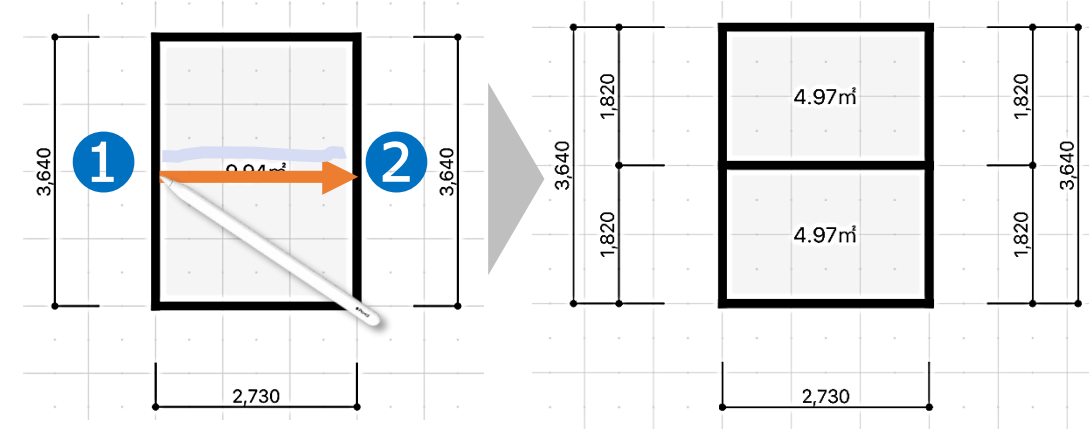
■ 壁を削除し部屋を合成する



■ 壁を追加して部屋にする



■ 壁を追加して部屋を分割する

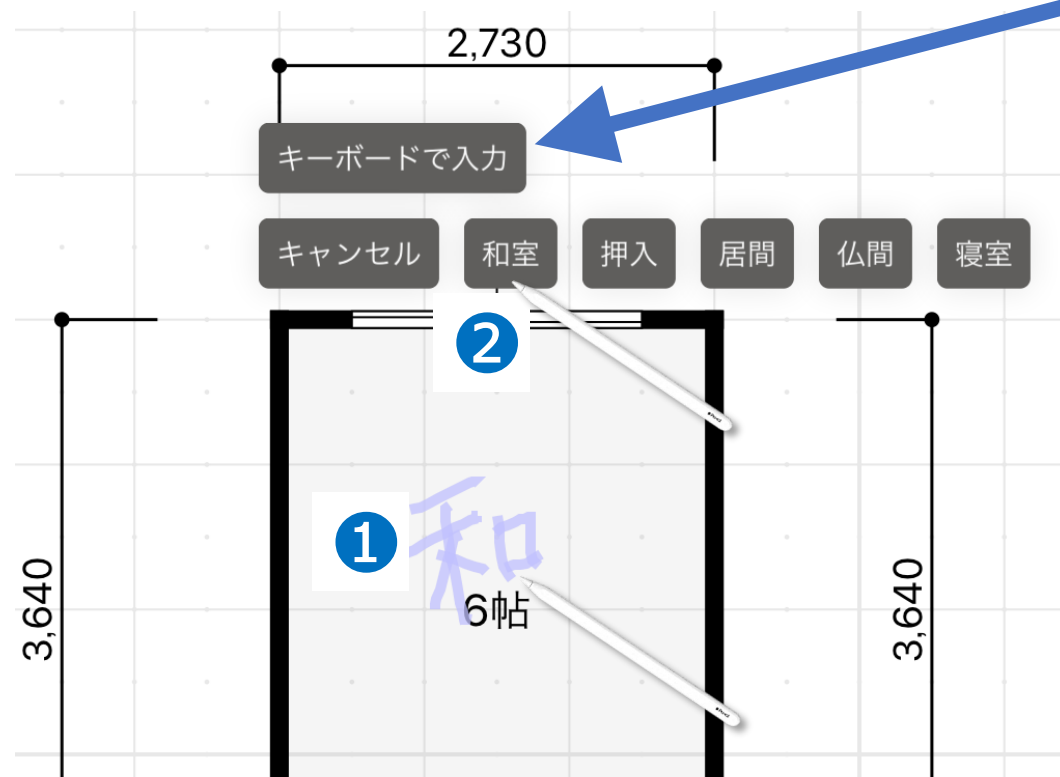




部屋名を入力してみましょう。

ポイント

- 部屋の領域内に入力
- 部屋名のリストから選択

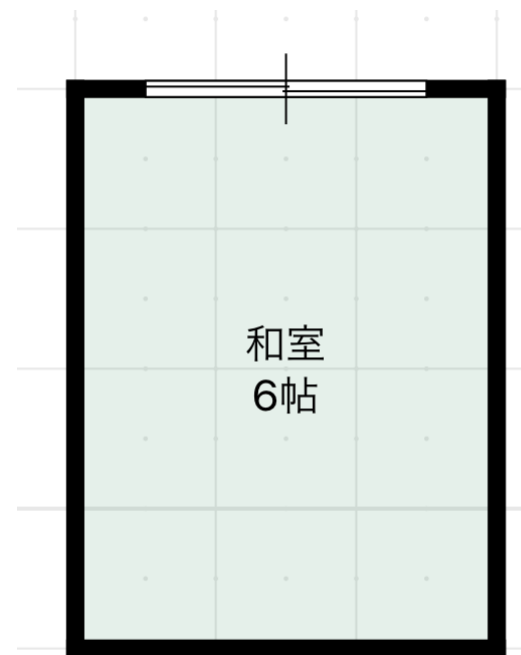


1 部屋内に部屋名の頭文字を入力

2 候補から部屋名を選択



※ リストに部屋名がない場合は、キー入力します。



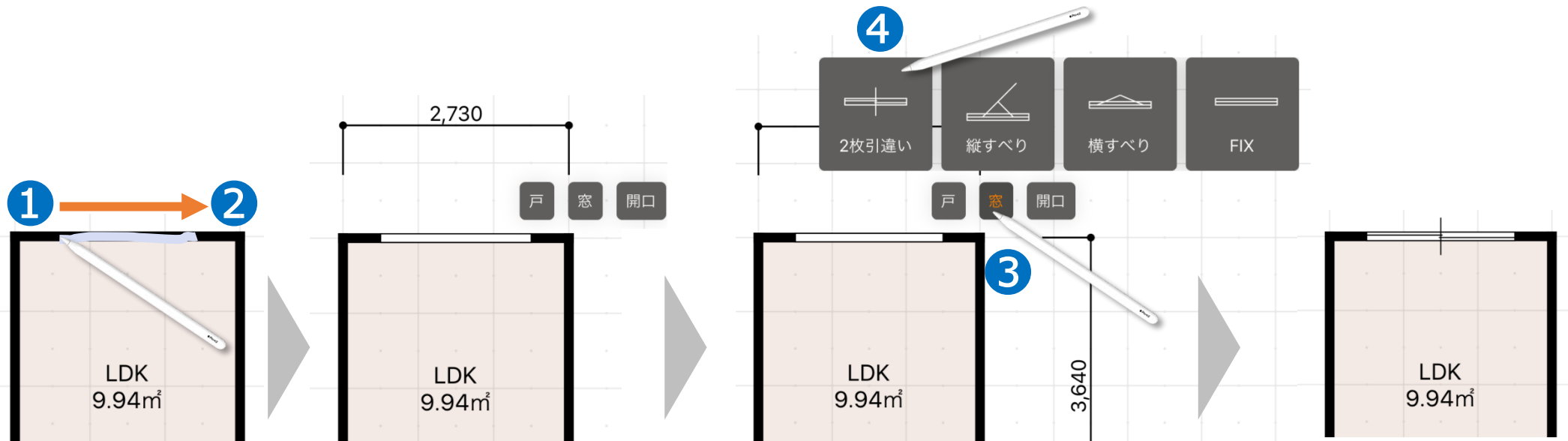
※ 名称の変更は、再入力。



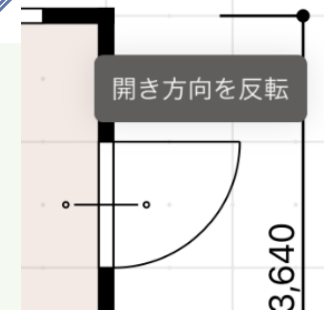
建具(開口)を入力してみましょう。

ポイント

- グリッドを目安に建具(開口)幅を壁上で指定する
- 種別は、戸、窓、開口



※ 種別を選択せず、開口のみを手早く入力することができます。



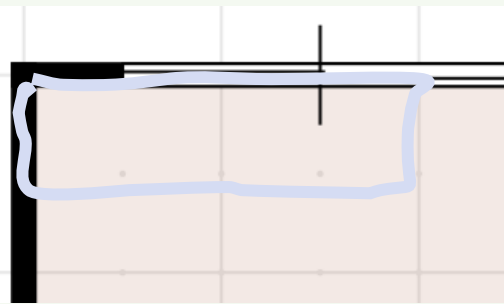
※ 開き方向のある建具は、方向の変更ができます。



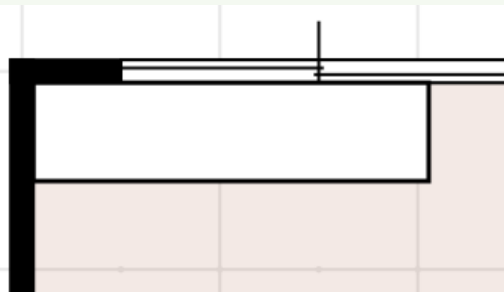
部品を入力してみよう。

ポイント

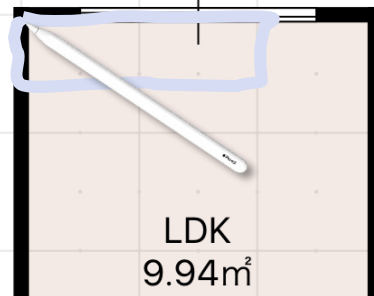
- 住宅設備機器や家具のアウトラインを入力
- 形状は、四角形、円形、楕円形、多角形



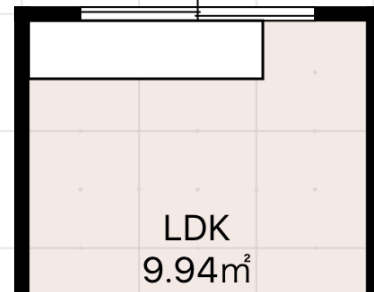
※ 壁からはみ出した入力は、
壁の内面に自動調整



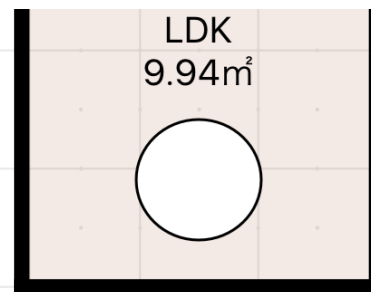
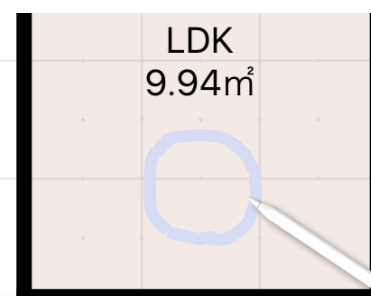
四角形



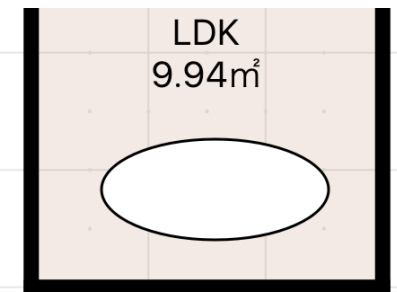
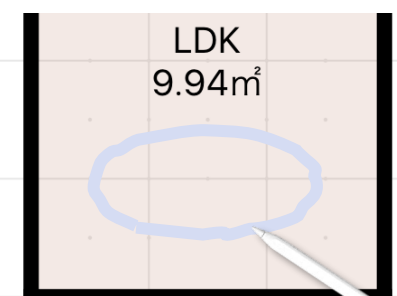
※ 任意の位置に部品のアウトラインをフリーハンドで入力



円形



楕円形



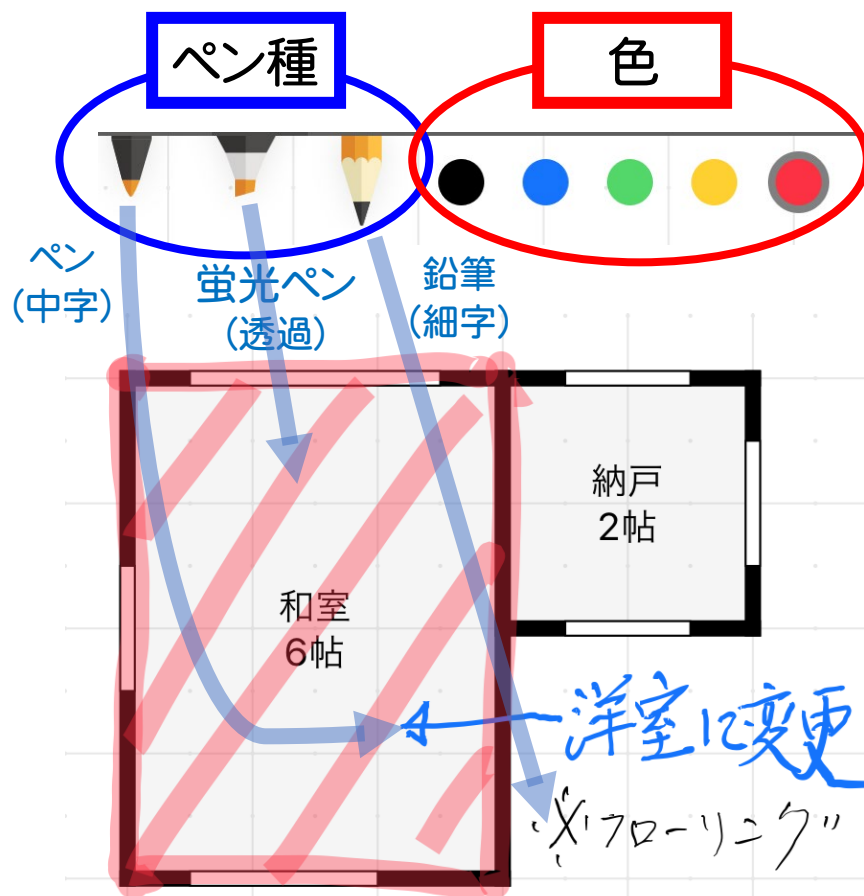



イラストを入力してみよう。

ポイント

- 太さや色を指定してフリーハンドで入力できます。
- 特記やイラストなどを必要に応じて追加します。

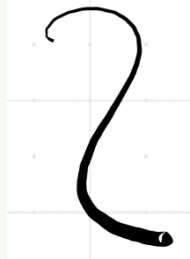
※ ペン種と色を組み合わせで描きます。



※ このコマンドを使用中にデータを削除する場合には、「消しゴム」コマンド  をご利用ください。



※ Apple Pencil での入力時は、筆圧に応じて線幅が変わります。



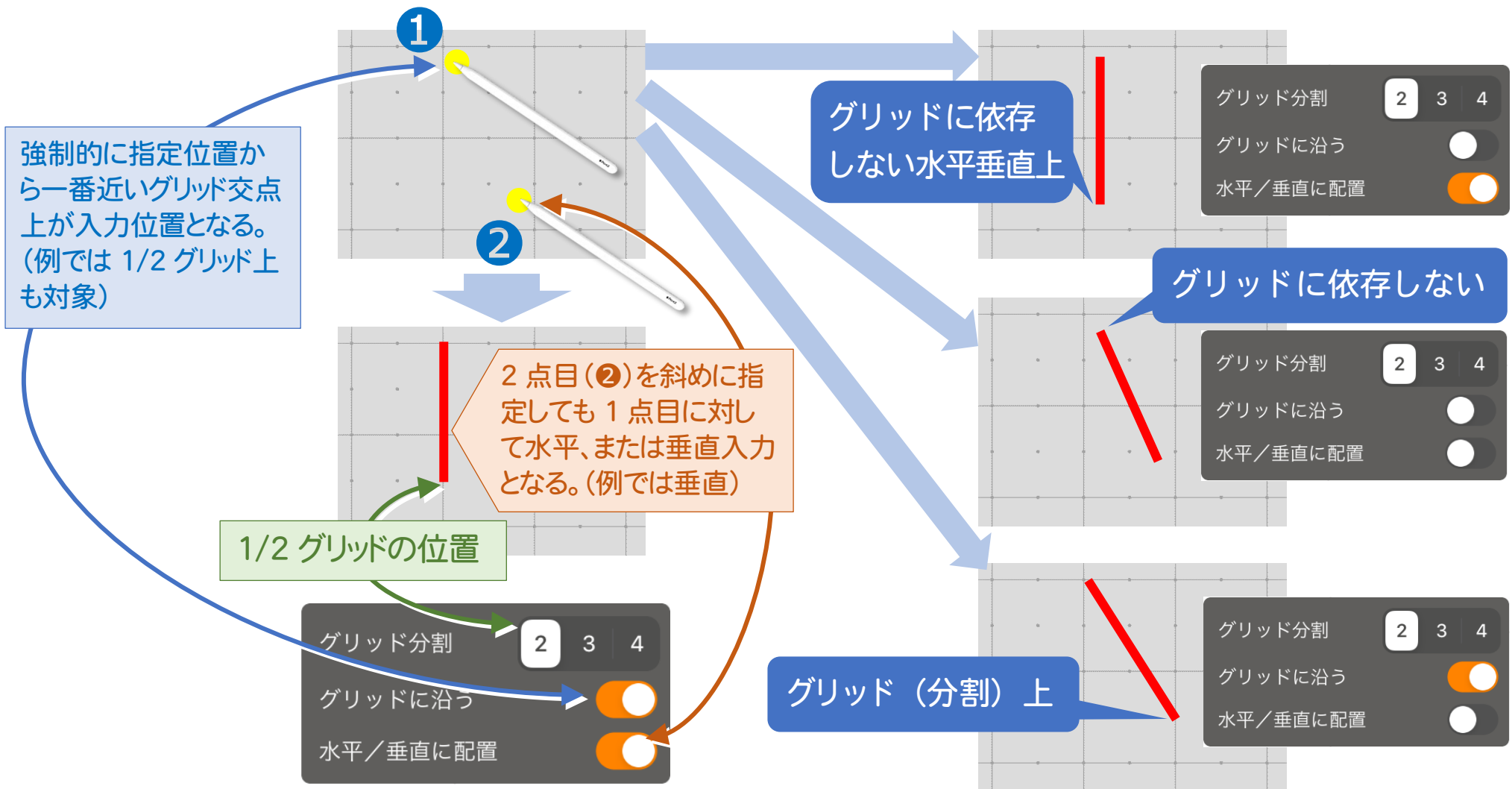


連続線を入力してみましょう。

ポイント

● **グリッド関連の設定の組み合わせで入力位置を調整**

▼ **以下は設定の組み合わせごとの入力位置の違い**



【補足】 いろいろな連続線の入力例

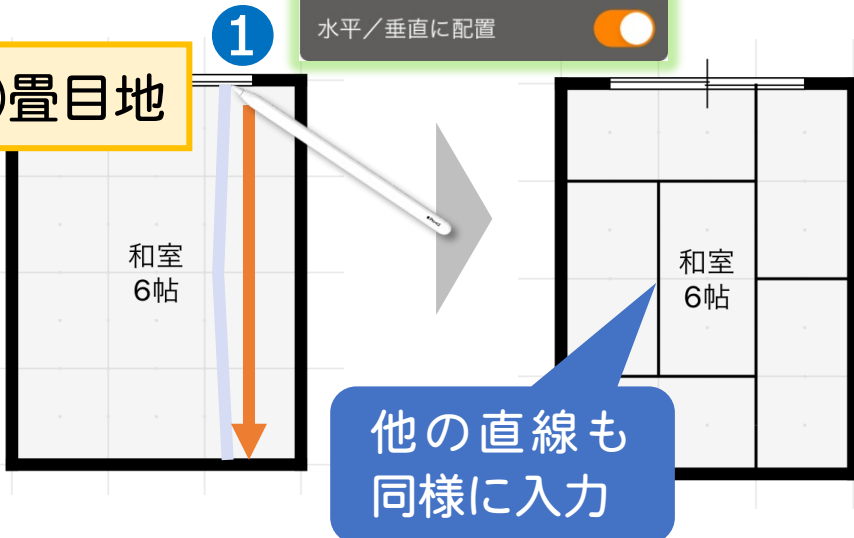
ポイント

- 用途としては、ポーチ、犬走り、畳目地、敷地など

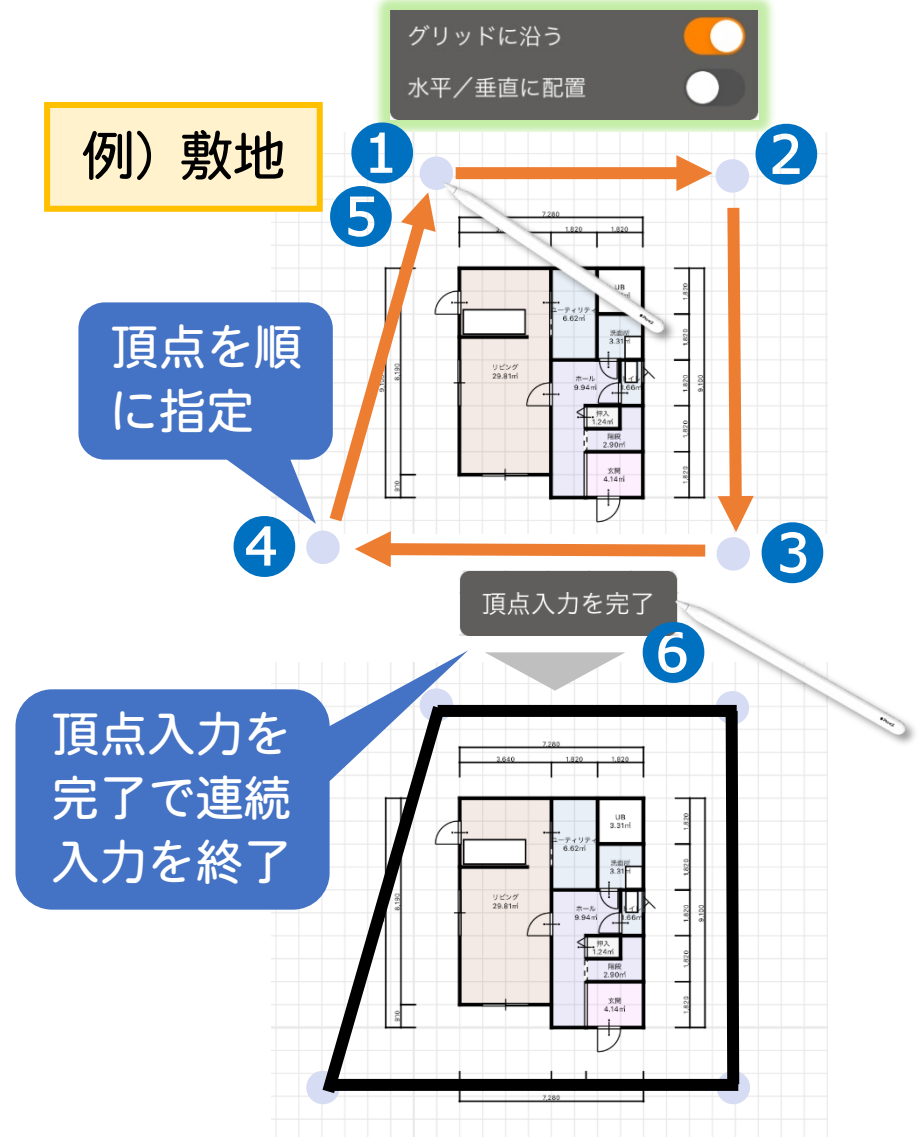
例)ポーチ



例)畳目地



例)敷地





写真やライブラリ画像を入力しましょう。

ポイント

- カメラで直接撮影（現況情報の登録に便利）
- 撮りためた写真や画像をライブラリから取り込む

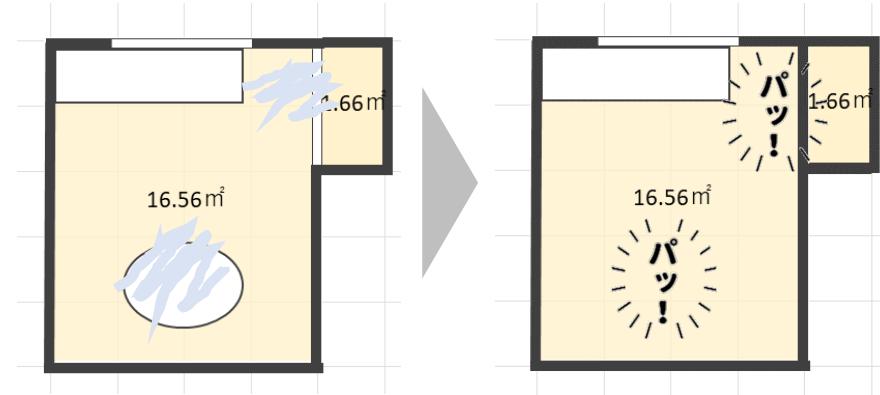


その他のコマンド



消しゴム(削除)

消したいデータをまたぐように
こする。



※ イラストコマンドなどでは、このコマンドでデータの削除を行ってください。



Undo

1 つ前の状態に戻します。



Redo

操作をやり直します。



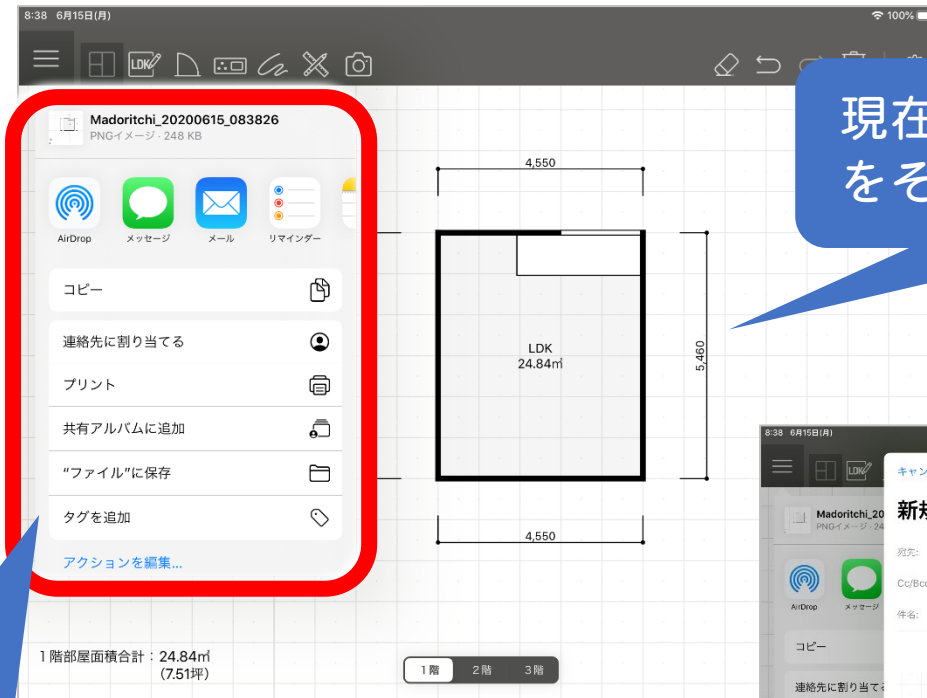
クリア

全ての階の入力データを削除します。

画像や PDF のエクスポート

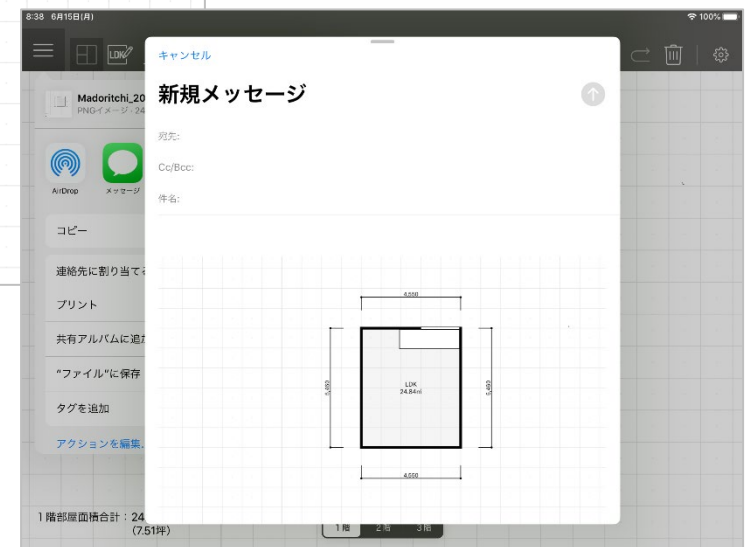
ポイント

- 画像や PDF 形式のデータを、プリント、各種 SNS やメールを介して共有できます。



現在の階の画面表示範囲内をそのまま出力します。

共有先を選択します。





各種設定



■ 下階を背景表示

オンにすると、1つ下の階で入力した間取りを淡色でバック表示します。

■ 部屋面積の単位

部屋中央に書かれる面積の単位を切り替えます。[\(m²、帖\)](#)

■ 部屋面積合計の位置

画面下部の部屋面積合計の表示位置を切り替えます。[\(左下、右下\)](#)

■ グリッドサイズ

グリッド(マス目)のピッチを切り替えます。[\(910、1000、カスタム\)](#)

カスタムにおいては、任意のグリッドサイズが設定可能です。

※在来木造など間単位での操作は「910」が便利です。

■ Apple Pencil 限定モード

オンにすると、入力時 Apple Pencil のペン先のみ認識。(誤操作防止)
また、通常2本指で行うスクロールやダブルタップなどを1本指で行えます。

■ 3Dカタログのログイン情報の設定

各プログラムヘデータを連携する場合に必要な設定で、アップロード
コマンドに連動し、設定済みの場合はログイン ID が表示されます。

※データ連携の詳細については、ヘルプの「[プログラム連携・プランデータのインポート](#)」を参照。